

## 8月の金融政策、政治・経済イベント

Raku  
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

7月の金融市場は、おおむね落ち着いた動きとなりました。FRB(米連邦準備制度理事会)の量的緩和の縮小観測などを背景に、5月～6月にかけての株安・米ドル高(新興国通貨安)が進行しましたが、7月10日の、バーナンキFRB議長による「しばらくは非常に緩和的な金融政策が必要だ」との発言を受け、その流れが巻き戻される展開となりました。8月の金融市場では、引き続き、米国の量的緩和の縮小観測を左右する可能性のある経済指標の発表が注目されます。また、8月は多くの国で2013年4-6月期のGDP(国内総生産)が発表されることから、その内容なども関心を集めそうです。

米国では9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で量的緩和の縮小を決めるのかどうかを予想する上で、2日に発表される雇用統計を始めとする各種経済統計の内容に注目が集まります(8月のFOMCの開催はありません)。また、中国では、8月1日発表の7月の製造業PMI(購買担当者景気指数)のほか、鉱工業生産、小売売上高などへの注目度が高まっています。中国景気の悪化に対し、足元の金融市場は過度に悲観的になりやすい状況にあることから、その内容が注視されています。

国内では、12日に2013年4-6月期のGDPが発表されます。市場予想では前期比年率換算+3.2%程度と1-3月期の同+4.1%に続く高い水準になると予想されています。4-6月期のGDPは2014年4月に予定されている消費税率引き上げの重要な判断材料の一つとされており、発表後は消費税引き上げを巡る議論がさらに活発化するものとみられます。

## 8月の注目される金融政策および政治・経済イベント

日付	予定
8月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国、7月の製造業PMI</li> <li>■ 米国、7月のISM製造業景気指数</li> <li>● ECB(欧州中央銀行)理事会、ドラギ総裁の記者会見</li> </ul>
8月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 米国、7月の雇用統計</li> <li>■ 日本、参議院選挙後の臨時国会(参議院議長などを選出)</li> </ul>
8月6日(火)	● 豪、豪州準備銀行理事会
8月7日(水)	● 日銀金融政策決定会合(～8日)、8日に黒田総裁会見
8月9日(金)	■ 中国、7月の消費者物価指数および生産者物価指数、鉱工業生産、小売売上高など
8月12日(月)	■ 日本、2013年4-6月期GDP
8月14日(水)	■ 欧州・ドイツ・フランス、2013年4-6月期GDP
8月20日(火)	■ メキシコ、2013年4-6月期GDP
8月23日(金)	■ 英国、2013年4-6月期GDP
8月30日(金)	■ インド・ブラジル、2013年4-6月期GDP
8月月内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本、中期財政計画と来年度予算案の概算要求基準を閣議決定(上旬)</li> <li>■ 日本、政府が成長戦略にかかわる各施策の詳細を取りまとめ予定(月内)</li> <li>■ 日本、産業競争力強化法案をとりまとめ(月内)</li> <li>■ 日本、2014年度予算編成の基本方針を決定(月内)</li> </ul>

● 金融政策関連  
■ 政治・経済関連

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。スケジュールは予告なしに変更される可能性があります。)  
※上記は過去のものおよび予定であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。